

登録コード	A3590313	開講年度	2026				
授業科目	科学英語					担当教員	山田 明義
英文授業名	Scientific English						
単位数	1	講義期間	後期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	3年生（研究室配属後の学生対象）
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2 0 2 2 Aカリ，2 0 2 1 Aカリ，2 0 2 0 Aカリ，2 0 1 9 Aカリ						
	【2022年度以前加わむ対象】専門的な知識や研究能力を修得している				研究に必要な専門分野の英文を読解できる．		
	【2022年度以前加わむ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している				研究に必要な英語の文献を探索することができる．		
	2 0 2 6 A3 編（24A），2 0 2 5 A3 編（23A），2 0 2 4 Aカリ，2 0 2 3 Aカリ						
	【2024年度以前加わむ対象】専門的知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。				研究に必要な英語の文献を探索し，内容を正確に読解できるようになる．		
	【2024年度以前加わむ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。				研究に必要な英語の文献を読解し，その内容を説明できる．		
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	英語学術論文を読解し，その内容をプレゼンテーション形式等で説明する．						
(5)授業計画	1．学術データベースを用いた英語論文の検索（目標の設定） 2．検索でリストアップされた候補論文の絞り込み（英文の速読） 3．電子ジャーナルの活用 4．選択した論文の全訳（英文の熟読） 5．論文内容の理解（文章の論理構成の理解，引用文献の読解） 6．プレゼンテーション資料の作成（英文読解により得られた知識の活用） 7．論文内容のプレゼンテーションと討論1（到達度の確認） 8．論文内容のプレゼンテーションと討論2（到達度の確認） 期末試験の期間内に授業アンケートを実施．						
(6)自主学習の指針	自主学習は必要不可欠です．興味を持って前向きに取り組んでください．						
(7)成績評価の基準	秀：授業の達成目標水準から見て卓越している． 優：授業の達成目標水準よりかなり上にある． 良：授業の達成目標水準よりやや上にある． 可：授業の達成目標水準にある． 不可： 授業の達成目標水準にない．						
(8)事前事後学習の内容	授業で与える資料の予習と復習を必ず行ってください．						
(9)テストやレポートの予定	必要に応じてテストやレポートを求めます．						
(10)成績評価の方法	授業計画に挙げた内容に対する取り組みの成果を総合的に判断して評価する。 評価基準： S：90-100，A：80-89，B：70-79，C：60-69，D：59以下						
(11)質問、相談への対応および連絡先	随時，口頭またはメール等で対応します．						
(12)履修上の注意	特になし						
【教科書】	指定しない						
【参考書】	指定しない						